

平成 28 年度 第 6 回小松市総合教育会議 議事録

1 日 時 平成 29 年 3 月 31 日 (金)
開会 13 時 00 分 閉会 13 時 20 分

2 会 場 小松市役所 3 階 3B 応接室

3 出席者 小松市長 和田 慎司 (議長)

小松市教育委員会

教 育 長 石黒 和彦
委 員 北村 嘉章
委 員 野田 美和子
委 員 蘆邊 千鶴子
委 員 吉原 慎吾

(事務局関係)

総合政策部長	早松 利男
総合政策部 経営政策課長	藤井 勝司
総合政策部 経営政策課主幹	出口 真澄
総合政策部 経営政策課事務員	嶋田 裕介
教育委員会事務局 教育次長	山本 裕
教育委員会事務局 シニアマネジャー	柿本 欣也
教育委員会事務局 未来の教育課長	廣田 恵子
教育委員会事務局 学校教育課長	波佐尾 雅人
教育委員会事務局 青少年育成課長	東谷 勝美
教育委員会事務局 教育庶務課参事	池田 美和子

4 討議事項 ○松東地区小学校統合後の新しい学校のあり方

5 会議の経過及び発言

○開 会

○和田市長あいさつ

- ・本日はこれまで議論してきた松東地区 3 小学校統合の最終議論となる。様々なご意見をいただきたい。
- ・4 月の人事異動もありますが、心機一転、全員チカラを合わせてまいりましょう。

○討議事項

松東地区小学校統合後の新しい学校のあり方

〈事務局：山本教育次長〉【資料】により説明

- ・前回の会議において、一年後に迫った3小学校の統合に向けて、速やかに明確なスケジュールを示さなければならないという提言を受け、12月までに終えるようスケジュールを作成した。
- ・このスケジュールはある程度の余裕をもってつくっており、前倒しでスケジュールを実施できるよう進めていく。
- ・校名については方針決定が4月を予定している。昨年11月の段階で、地域の保護者に校名についてのアンケートを実施し、その結果を受けて開催した統合推進委員会にて「最終的には教育委員会にて決定してもらえばよい」という合意を得ている。これを受けて教育委員会で決定に向けて進めていく。

〈議長〉教育長から補足することはないか。

- 〈石黒教育長〉・これから平成33年度までのタイトな期間で、3校統合と小中学校連携について計画を実行していかなければならない。スケジュールの遅延がないよう進めていく。
- ・また小中学校が連動していく「新しい学校づくり」により、単なる統合ではなく、統合により積極的に教育の質を高めていく。第1期として小中一貫教育、第2期（最終段階）では義務教育学校というものをつくっていきたいと考えている。
 - ・早められるところがあれば、計画を前倒しし、速やかに計画を進めていく。

〈議長〉では、皆さんからご意見、ご質問をいただきたい。

〈北村委員〉・地元のコンセンサスをとっていくことが重要である。

- ・新学習指導要領が改定されたことを踏まえて進めていかなければならない。
- ・教育長からの説明のとおり、単なる統合ではなく、新しい学校をつくる視点でこれからの小松市の学校モデル・指針となるものにしていかなければならない。

〈吉原委員〉・今回のスケジュールは時間に余裕をもった無理のない範囲での計画となっている点は良いと考える。

- ・現場の混乱が最小となるように。特に中学校を考慮してソフトランディングとなるべき。

〈野田委員〉皆さんの意見に同感である。

〈蘆邊委員〉小中学校の連携についてスムーズに実施できるよう、スケジュールどおり進めてもらい、できるなら早め早めに実施してもらいたい。

〈事務局：総合政策部長〉・校名については、小学校の名前が消えるのではないかと心配していた点が、十分に検討して進めているということで、安心した。

- ・校名決定のスケジュールがもうひと月早くなると6月議会やプレスリリースの機会で公表できる。調整に時間がかかるようなら、もう少し時間をかけて後のタイミングが良い

のではないかと感じた。

〈石黒教育長〉・同意見であり、3校の統合で校名を何にするかは、非常に難しい点である。
・3校下の方が納得できる共通の名称となるよう検討委員会で検討していく。

〈議長〉検討委員会はどのようなメンバーで構成されるのか。

〈石黒教育長〉・この会議のメンバーに加え、有識者として地域の歴史や地理に詳しい方などにも入っていただきたいと考えている。この検討委員会で2~3つの案をつくり、教育委員会議で決定したい。

〈議長〉・校名は、歴史も地域も大事である。また、将来その学校が大会に出場する際などに校名が他校と似ていると混乱するなど、校名を検討するうえでのポイントがある。それらを整理して、地域の方を含めて検討していくことが必要。また、どのように決めていくか、そのメカニズムも明確にしなければならない。
・学校統合は久しぶりのため、学校運営委員会のような会を立ち上げた方がよいのではないかと。

〈事務局：山本教育次長〉現在は統合推進委員会にて、地域の代表や校長、PTA代表、教育委員会などがメンバーとなり、会合を重ねて進めているところである。これを発展させていく方向が考えられる。

〈議長〉12月まで実施していかなければならないため、メンバーの見直しも含めて、新年度を進めていく必要がある。

〈北村委員〉・ある程度こちらで方向性を決めて、地域の方々の意見を聞いて、早めに調整して進めていくとともに、地域の方にも考えてもらう仕組みを考えていくことが必要である。
・統合後には広域通学の募集も始めるため、入学者がどの程度入ってくるかも重要。学校が変わるため、コンセプトの周知を図らなければならない。
・運営委員会を立ち上げ、地域の方が自ら運営していく意識をもってもらうことで、新たな学校づくりのきっかけになるのではないかと感じた。

〈石黒教育長〉皆様よりのご意見のとおり、校名のポイント・コンセプトについて細かい視点を設けて、皆さんが納得できる学校づくりを進めていきたい。

〈議長〉十分に各地区の方々にお話を聞いて、進めていってもらいたい。

○閉 会